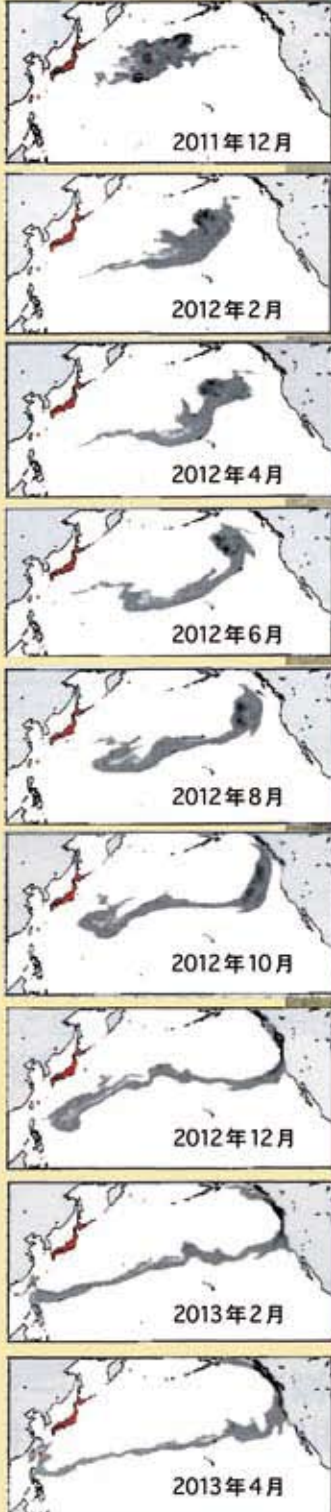


# 東北からきたかもしれない漂着物

## 西表・ユツンで見つかる



標準漂流物の漂流予測(長期)



### 第一発見者からのコメント

「ユツンに散歩に降りていたら、波打ち際にいきなり大きなものが見えたのでビックリしました!ただ事ではないと感じ、すぐに『震災で流出したものでないか?』と思いました。」



### 海洋漂着ゴミのエキスパート

日本エヌ・ユー・エスの野上さん(民宿A館歴20年)  
「去年の7月と11月に、宮城県の漁船が本島に流れ着きました。このポストが震災によるものだとすると、八重山諸島では初めての震災起因漂着物となります。現在、このポストについて調査中です。」



西表島・ユツン海岸に「ポスト」が漂着しているのが見つかりました。詳細はいま調査中ですが、震災により東北から漂流してきた可能性があります。もしそうであれば、西表で初めて確認される震災起因漂着物ということになります。

環境省等のチームによる、震災に伴う洋上漂流物のシミュレーションでは、ポストのような「標準漂流物」の西表島近海への到達は、今年の2月あたりからと予測されていましたが(図を参照ください)、このポストは、黒潮から離れて南下する海流に乗ったために、予測より少し早めに西表までたどり着いたのではないかと考えられます。

遠く東北から、これからさまざまなもの、太平洋を巡る長い旅を経て西表までやってきます。首相官邸ホームページの「総合海洋政策本部」では、「所有権等の特定が容易であり、一般的、または個人的に価値があると考えられる漂着物(宝石、アルパムなど)を見つけた場合には、まず警察などの政府機関に連絡して欲しい」と呼びかけています。

海面下漂流物	標準漂流物	海面上漂流物①	海面上漂流物②
海水を含んだ木材など。偏西風の影響を受けにくい	海上部分と海中部分が同程度の漂流物。このポストはこれにあたる	海上部分が海中部分の倍ほどの漂流物。偏西風の影響を受ける	破損していない漁船やフロート、ブイなど。偏西風の影響を強く受ける

資料・環境省水・大気環境局水環境課海洋環境室  
「東日本大震災による洋上漂流物の漂流予測中間結果の公表について」

we support



復興支援  
かわらばん

# すけきた

# しんぶん

## 大寒期

「すけきた」とは  
宮城県登米市あたりの言葉で  
「ポラントピアに来たよ」という  
意味である。